

不発弾処理へのご協力ありがとうございました

5月21日に、広島2丁目で米国製の500キロ不発弾が発見されました。6月1日の不発弾処理作業の際には中心市街地に避難勧告対象区域を設定し、交通規制も実施。自衛隊により午前9時頃から始まった信管を抜く作業は、およそ1時間半で無事終了し、対策本部より「安全宣言」が発表されました。



多くの人に避難や交通規制にご協力いただきました



梅雨の晴れ間のこの日、子どもたちは勢いよく海に入りました

青島・白浜海水浴場オープン

6月28日、海水浴の安全を祈願する神事やセレモニーなどが行われた後、子どもたちがこの夏の初泳ぎを楽しみました。両海水浴場ともに8月末まで遊泳可能です。青島では8月末まで「渚のビーチフェスティバル」を毎週末開催します。夏をぜいたくに過ごせる、さまざまなイベントやマリンスポーツなどが楽しめます。

Miyazaki Topics

宮崎市
旬の話題 “みやとピ”



大正11年3月古城小学校卒業生。鳥原ツル校長は手前から二列目の左から二人目

鳥原ツル氏を顕彰する基金を創設しました

鳥原ツル氏は、大正9年に古城尋常小学校で、25才で全国初の女性小学校長に就任した人です。先日、その遺族である故 前田輝子氏の意向により、相続財産の一部が市に寄贈されました。市では古城小学校の児童の学習環境の充実を図るとともに、鳥原ツル氏の顕彰を目的として「宮崎市立古城小学校振興基金」を設置しました。

つなごう大淀の底力と誇りを

6月22日に、大淀誕生125周年を記念し、「大淀再生の日」記念大会が開催されました。大淀地域には天神山公園や市立図書館などのほか、鳥原ツルさん(左記事参照)を輩出した古城小学校もあります。この日は、大淀小・古城小・大淀中の児童生徒の皆さんが、地域で策定したビジョン「大淀がめざすまちの姿」を紹介したほか、初披露の「おおよど音頭」をみんなで踊りました。



大会の最後は、「おおよど音頭」で会場が一体に



宮崎軽便鉄道は、日本で初めて走った蒸気機関車(弁慶号)によく似ていることから、愛称「弁慶号」として親しまれていました



役目を終えた機関車は、原町にある児童交通遊園内にあり、訪れた人に親しまれています

宮崎市制90周年記念 みやざきタイムマシン 宮崎軽便鉄道 1962年(昭和37年)

田園を走る古風な機関車。映画のワンシーンのような光景ですが、これは今から約50年前に実際に走っていた、宮崎軽便鉄道の姿です。奥の高い建物付近には昭和29年に開港した宮崎空港が見えます。

南宮崎から、青島、白浜など各駅を通り、終点・内海までをつなぐ宮崎軽便鉄道が開通したのは大正2年のこと。小学校の遠足や修学旅行で、これに乗って「こどものくに」に行ったという人も多いことでしょう。

宮崎軽便鉄道は昭和37年まで、約50年間走り続けました。利用した人は、昭和36年だけでも約44万人。いかに宮崎の交通を支えていたかが分かります。

写真はさよなら運転を行う軽便鉄道。多くの人が沿道に駆け付け、別れを惜しまました。